

BUSINESS REPORT



株主の皆さまへ
第113期 第2四半期報告書
2022年12月1日から2023年5月31日まで

津田駒工業株式会社

～最高の品質を
目指し社会に貢献する～

代表取締役会長 兼 社長

高納 伸宏



2021-2023 スローガン



連結業績ハイライト

受注高 22,532 百万円 (前年同期20,013百万円)	経常損失 (△) △1,274 百万円 (前年同期△1,748百万円)
売上高 18,861 百万円 (前年同期14,705百万円)	親会社株主に帰属する四半期純損失 (△) △1,316 百万円 (前年同期△1,709百万円)
営業損失 (△) △1,250 百万円 (前年同期△1,782百万円)	1株当たり四半期純損失 (△) △206.13 円 (前年同期△267.66円)

(注) △印は、損失を示しています。

第113期中間報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、政府による新型コロナウイルス感染症の5類移行決定もあり経済活動は好転し、景気は緩やかな回復が見られています。

こうした中、当企業グループでは、新製品の拡販活動への注力、コストダウン活動を強力に進め、業績の改善を図りました。繊維機械事業では新型エアジェットルーム「ZAX001neo」の導入が主要市場で進み、本格的な稼働が始まっています。2022年12月にインドで開催されたINDIA ITME 2022では、出展した2台の超高速エアジェットルームが高い評価を頂き、その後順調に受注が伸びております。また2023年6月には世界最大の国際繊維機械見本市 ITMA Milan 2023に出展し、当社の広巾エアジェットルームでオーニング TENT を製織する実演を行い、好評を頂きました。今後は産業資材の分野にも裾野を広げ、販促活動を拡大して参ります。

工作機械関連事業では、取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いておりますが、昨秋のJIMTOF 2022で市場投入した新製品の拡販活動を積極的に展開し、受注の確保に努めております。

当第2四半期においては、繊維機械事業で受注、売上が前年同期を大幅に上回りましたが、製造コスト上昇に対する販売価格への転嫁が追い付かず、工作機械関連事業では利益を計上したものの、全体では損失の計上となりました。

このような状況に対し、下期で早急に黒字転換を図るため、繊維機械事業では、堅調な内需を背景に設備の近代化投資が見込まれるインド市場や、フィラメント分野の中心市場である中国市場に加え、台湾、トルコ、インドネシア等の市場にも裾野を広げ、販売増加を図ってまいります。

また、原材料価格等が未だ不安定な中、適正な販売価格の構築とコストダウン活動を強力に進めて、採算面の改善を図ってまいります。

工作機械関連事業では、高速・複合加工に対応するDD（ダイレクトドライブ）モータ搭載の傾斜NC円テーブルを新たに市場投入すると共に、今期中の販売開始を目指して大型NC円テーブルのラインアップ拡充化を進めております。今後の市場の回復を睨み、必要な新製品の開発を進めてまいります。

両事業共に、最終年度となりました「中期経営計画2023」で掲げる重点施策を最後まで着実に実行し、収益体質の確立と業績の回復を図ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては何卒格別のご理解と、今後とも引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長 高納伸宏

～繊維機械事業～

超高速2300回転での実演を披露 ～INDIA ITME 2022～

2022年12月に、インド国際繊維機械見本市 INDIA ITME 2022が開催されました。

当社からはZAX001neoを2台出展し、190cm巾で1分間に2300回転、340cm巾で1000回転の横入れを実演し、高い生産性能を披露しました。2300回転は、業界・市場に大きなインパクトを与え、連日大盛況となり、多くの方に驚きを与えました。



多くの来場者が当社ブースを訪れた



2300回転を実演した新型エアジェットルーム

産業資材用織機を展示 ～ITMA 2023～

2023年6月に、4年に1度開催される国際繊維機械見本市 ITMA 2023（イタリア ミラノ）に出展しました。当社からは2台の織機を展示し、1台は産業資材のオーニングを広巾かつ高速で織りこなす実演を行い、来場者の方々に好評を頂きました。津田駒は織機の可能性をさらに広げていきます。



ブースのデザインも大変好評だった



オーニング織物を実演した390cm巾の新型エアジェットルーム

～工作機械関連事業～

最大旋回径φ500mmを可能にした傾斜NC円テーブルを開発

生産性向上や自動化という加工トレンドに加え、“生産設備の単位面積あたりの付加価値額の向上”という観点からより汎用性の高いコンパクトな設備が要求されてきております。

「TWSシリーズ」は、小型マシニングセンターに搭載可能なボディサイズでありながら、ワーク最大旋回径φ500mmが可能な傾斜NC円テーブルです。PF（プラットフォーム）設計を活用し、メンテナンス性・拡張性に優れます。バッテリーケースなど次世代の加工ワークに最適で、今秋のMECT展に出展を予定します。



新型傾斜NC円テーブル TWS-160

～コンポジット機械事業～

ロボットによるバリ取り化を実現

2018年よりFA（ファクトリーオートメーション）を推進するロボットインテグレーション事業を開始しています。昨年12月に、人手作業が一般的な機械加工後のバリ取り作業を、ロボットを使用して完全自動化し、工作機械メーカー様へ納入しました。

システム設備は当社子会社の共和電機工業製の自動ストッカーシステムと連携し、ワークの自動搬入出も含め無人運転を実現しています。



納入されたバリ取りロボット設備

事業別の状況

繊維機械事業

受注高 **19,648** 百万円 (前年同期16,430百万円)

売上高 **15,881** 百万円 (前年同期11,314百万円)

営業損失(△) △**1,091** 百万円 (前年同期 営業損失△1,723百万円)

工作機械関連事業

受注高 **2,884** 百万円 (前年同期3,583百万円)

売上高 **2,980** 百万円 (前年同期3,391百万円)

営業利益 **412** 百万円 (前年同期 営業利益505百万円)

連結財務データ

BUSINESS REPORT

四半期連結貸借対照表 (単位：百万円)

科目	前期 令和4年11月30日現在	当第2四半期 令和5年5月31日現在
資産の部		
流動資産	21,648	20,590
固定資産	11,930	11,657
有形固定資産	8,396	8,128
無形固定資産	468	390
投資その他の資産	3,065	3,138
資産合計	33,578	32,247
負債の部		
流動負債	23,095	22,082
固定負債	7,319	8,446
負債合計	30,414	30,528
純資産の部		
株主資本	2,039	722
その他の包括利益累計額	1,007	871
非支配株主持分	116	123
純資産合計	3,164	1,718
負債純資産合計	33,578	32,247

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書 (単位：百万円)

科目	前第2四半期 (累計) 令和3年12月1日から 令和4年5月31日まで	当第2四半期 (累計) 令和4年12月1日から 令和5年5月31日まで
売上高	14,705	18,861
営業損失(△)	△1,782	△1,250
経常損失(△)	△1,748	△1,274
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,655	△1,241
四半期純損失(△)	△1,710	△1,309
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,709	△1,316

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

本社所在地 〒921-8650 石川県金沢市野町5丁目18番18号
 設 立 昭和14年12月30日（創業 明治42年3月）

資 本 金 123億1,654万円
 従 業 員 796名

役員 の 状 況 (令和5年5月31日現在)

代表取締役会長兼社長	高山 納 伸 宏	TSUDAKOMA Europe s.r.l. 代表取締役、法務・コンプライアンス室担当
取 締 役	北 野 浩 司	管理部門統括、総務部長、輸出管理室長、ふあみーゆツダコマ株式会社 代表取締役
取 締 役	寺 田 武 志	繊維機械事業統括、TSUDAKOMA SERVICE INDIA PRIVATE LIMITED 代表取締役、津田駒機械設備（上海）有限公司 董事長、津田駒機械製造（常熟）有限公司 董事長
取 締 役	大 河 哲 史	工作機械関連事業統括、工機販売部長、航空機部品推進室長、ツダコマテクノサポート株式会社 代表取締役
取 締 役（社外）	越 馬 進 治	
取 締 役（社外）	潮 田 勝 史	
常 勤 監 査 役	長 谷 博 進	
監 査 役（社外）	澁 谷 進 隆	（カジナイロン株式会社 代表取締役社長）
監 査 役（社外）	梶 政 隆 二	
相 談 役	菱 沼 捷 和	製造第1部長
執 行 役 員	浅 井 俊 也	工機業務部長
執 行 役 員	室 井 哲 隆	繊維機械販売部担当
執 行 役 員	林 若 森	経営企画室長、知財・情報管理部長、法務・コンプライアンス室長
執 行 役 員	西 村 達 雄	コンポジット機械部長
執 行 役 員	北 川 登 志	品質保証部長
顧 問	松 任 宏 幸	ツダコマ・ゼネラル・サービス株式会社 代表取締役
顧 問	坂 井 一 仁	株式会社 T-Tech Japan 代表取締役
顧 問	大 森 充 充	共和電機工業株式会社 代表取締役

株式の概況 (令和5年5月31日現在)

株式の状況

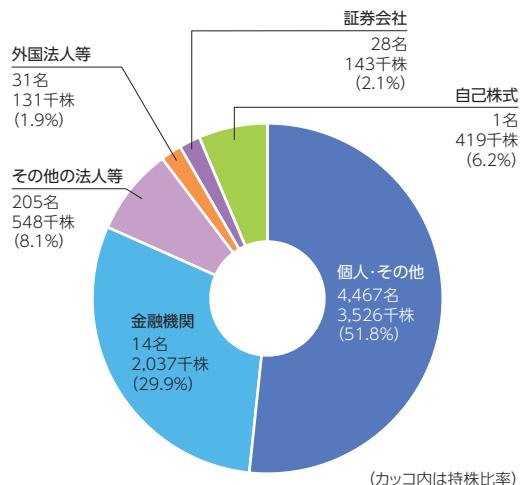
①発行可能株式総数	19,900,300株
②発行済株式の総数	6,807,555株
(内自己株式の数)	(419,438株)
③単元株式数	100株
④株主数	4,746名

大株主の状況

株 主 名	持株数 (千株)
津田駒取引先持株会	1,170
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	650
明治安田生命保険相互会社	280
株式会社北陸銀行	258
株式会社北國銀行	232
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	228
ツダコマ従業員持株会	191
東京海上日動火災保険株式会社	177
三井住友海上火災保険株式会社	142
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	76

(注) 当社の保有する自己株式419千株は上記表には含んでおりません。

株式の分布状況



株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年11月30日 中間配当 毎年5月31日
定時株主総会	毎年2月
公告方法	当社ホームページ上に掲載
上場証券取引所	東京証券取引所（スタンダード）
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	TEL 0120-782-031（フリーダイヤル） 受付時間 9:00～17:00（土日休日を除く）

ホームページのご案内

<https://www.tsudakoma.co.jp/>

